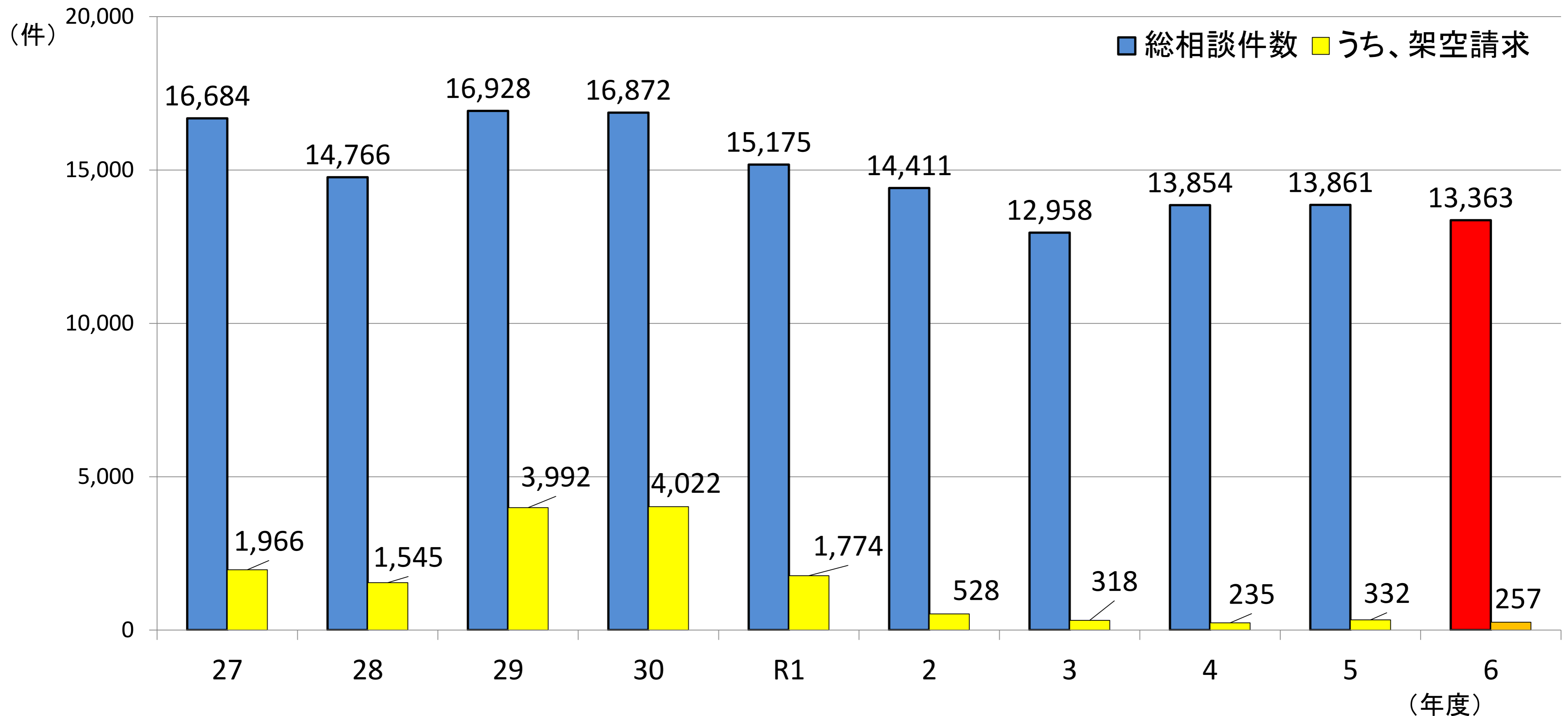


県内の消費生活センター等における若者の相談状況

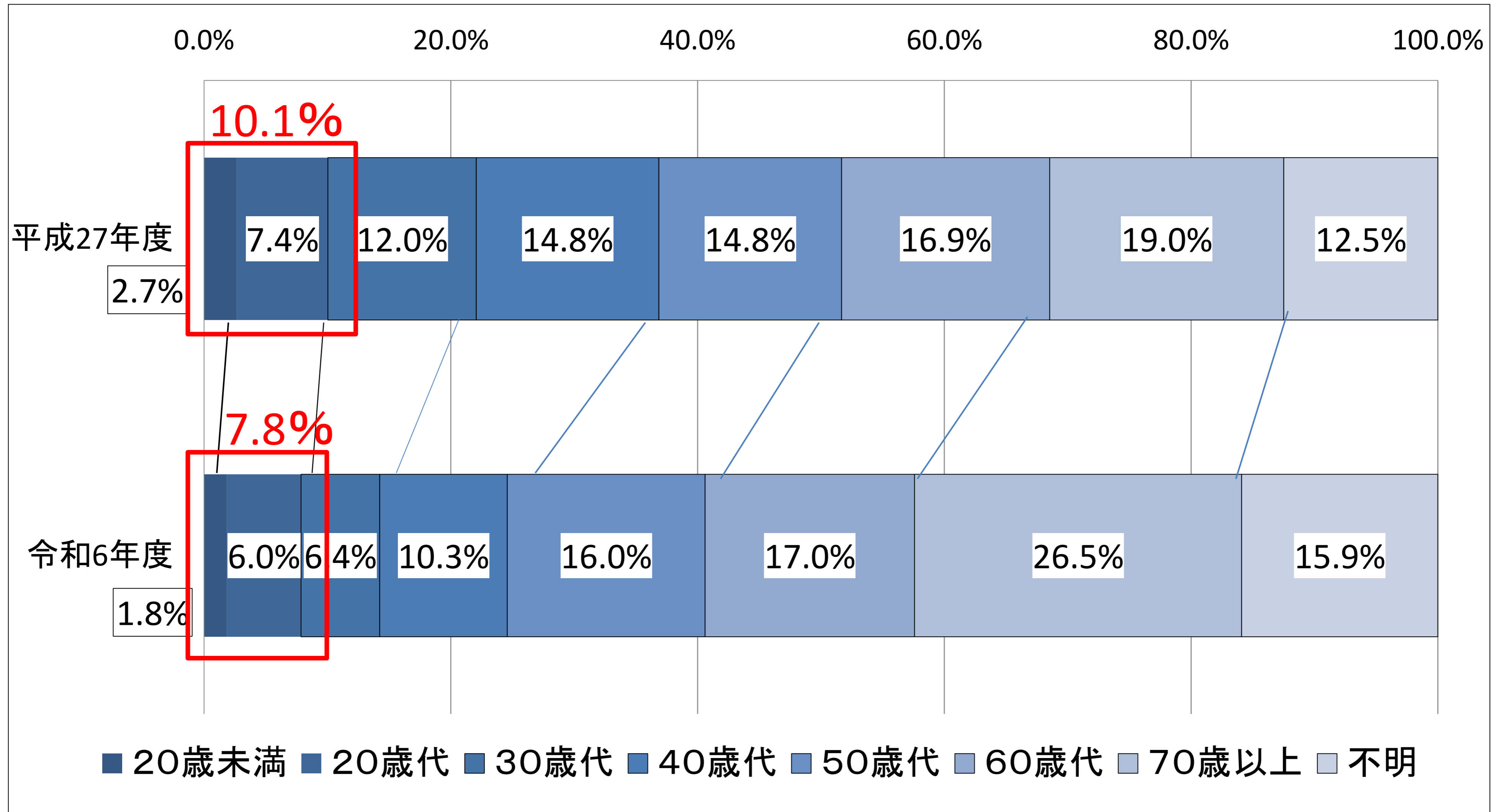
1 本県の相談件数の推移

- 令和6年度の相談受付件数は13,363件であり、前年度から498件減。
- そのうち、架空請求の相談受付件数は257件であり、前年度より75件減



2 本県の年代別消費生活相談の割合

- 全体件数から見た、若者(29歳以下)からの相談割合は全体の7.8%。
- 10年前と比べ、若年層は減少し、50歳以上で増加傾向。



3 本県の年代別商品・役務の上位(令和6年度)

- 20歳未満の第1位が「インターネットゲーム」
- 20歳代の第1位は「商品一般」
- 若年者に特有のものとして「内職・副業」が上位に

年代	1位	2位	3位	4位	5位
20歳未満	インターネットゲーム	化粧品	商品一般	健康食品	内職・副業
20歳代	商品一般	内職・副業	フリーローン・サラ金	不動産貸借	役務その他サービス
30歳代	商品一般	フリーローン・サラ金	不動産貸借	内職・副業	四輪自動車 工事・建築
40歳代	商品一般	フリーローン・サラ金、化粧品	—	不動産貸借	健康食品
50歳代	商品一般	化粧品	健康食品	フリーローン・サラ金	不動産貸借
60歳代	商品一般	化粧品	健康食品	フリーローン・サラ金	インターネット接続 回線、工事・建築
70歳代	商品一般	化粧品	健康食品	インターネット接 続回線	固定電話サービス、役 務その他サービス
80歳以上	商品一般	健康食品	役務その他サービ ス	相談その他	工事・建築

注)商品一般:商品を特定できないもの。架空請求はがき・メールを含む。

他の内職・副業:サイドビジネス。 相談その他:不幸の手紙、チェーンレター、保証人等。

役務その他サービス:サポートサービス等。

実際の相談事例(R6 センターレポートより)

インターネットの副業 ~SNSの広告を見て、簡単なタスクで報酬が得られるという副業を何回か行った。指示に従い8万円振り込んだが、返金してほしい~

10月頃からSNSに流れてくる広告を見て、簡単なタスクで報酬が得られるという副業を何回か行った。当初は動画を見てスクショを送る等の作業で数百円の報酬を実際に受け取ることができた。そのうち「高額案件」として数万円振り込むようにと指示され、その場合は振り込んだ金額以上の報酬がもらえると言われ、個人名義の口座に振り込みをした。10日程前、3万円を個人名義の口座に振り込んだので報酬をもらうため出金しようとしたら「後5万円支払わないと払い戻しできない」と指示された。全部で8万円支払った。返金してほしい。〈20代 女性〉

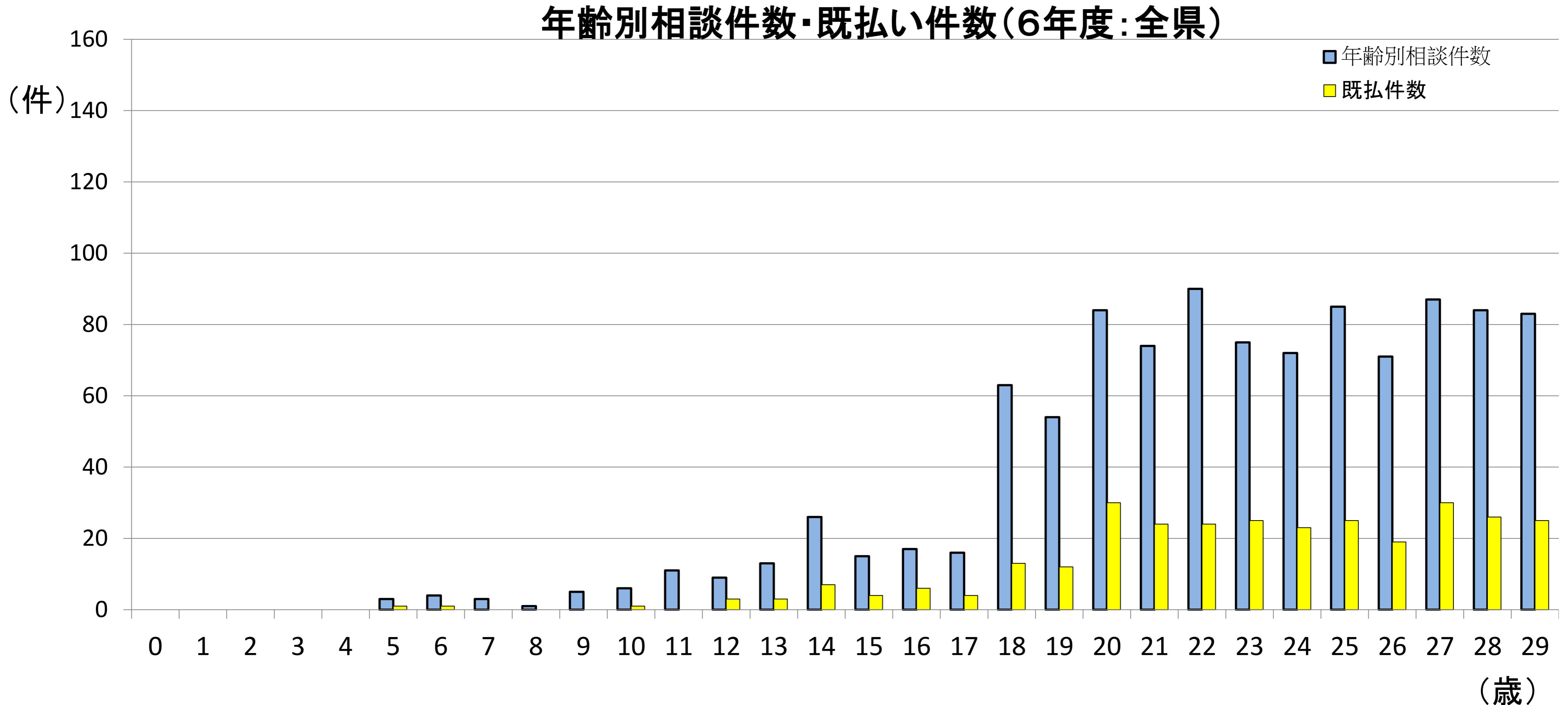
転売ビジネス ~SNSの広告から転売ビジネスの副業を契約し事業者の指示でクレジットカードを作り入会金等を決済した。不審なので解約返金希望~

先月、写真動画共有SNSの副業の広告を見て個人に連絡したら、「物販に興味ありますか。私はお世話になっている会社から商品を仕入れている。会社は事業者と提携するが、特別に個人でもできるか会社の許可を取ってみる。」と返信があり、後日、事業者の担当者から電話があり中古のブランド品を仕入れてフリマアプリで販売する転売ビジネスを勧められて契約を了解した。入会金は11万円で運営費として月額2,980円がかかると説明を受けクレジットカードを作るよう言われた。指示されたカード会社のクレジットカードを申し込み入会金11万円とブランド品の仕入れ代金5万円をリボ払いでカード決済した。担当者から「マーケティングを手伝って欲しい。SNSに投稿しダイレクトメッセージに誘導して下さい。」と頼まれて、SNSのアカウントを4個任された。仕入れたブランド品は汚れていてかび臭かったし、家族に副業のことを知られて反対された。SNS上で実在しない人物に成りすますのはおかしいと思う。担当者にSNSで解約を申し出たが、「電話で話したい。」と返信が来た。解約返金希望。〈10代 女性〉

4 本県の若者の相談状況

(1) 令和6年度 若者(29歳以下の契約)に関する相談状況

- 29歳以下の若者の契約に関する相談受付件数は1,051件。前年度比163件減少(R5年度1,214件) ……県全体の相談受付件数13,363件の7.9%。
- 18歳以降で相談件数が増加。
- 1万円以上支払った件数は253件。前年度比49件減少(R5年度302件)



(2) SNSに関する相談の推移(15～29歳)

- SNSに関する総相談件数は年々増加しており、15歳～29歳までの相談件数は、R2年度の急増以降高止まり。
- 出会い系サイト、副業サイト、インターネット通信販売などの相談が見られる。
- SNSで知り合った知人からの誘いや、広告を見たこと等をきっかけに、副業でのトラブルとなる事例も見られる。

